

観光振興について

アナ： 「市長が語る 2016 三島」第 19 回の今日は、「観光振興」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 今、「観光」が大変注目されていますが、なぜなのでしょう。

市長： 地方を輝かせ続けるためには「観光」というキーワードは欠かせません。というのも、観光によって外から人が訪れることで、地域に活力・元気がもたらされ、経済効果につながるからです。地域に住む人も地域産業の全体も元気になる大きな原動力として「観光」が見直されてきており、「地域づくりのベースになるもの」という視点で捉えなおされているのです。

アナ： 地方が元気でいるためには、「観光」が欠かせないということですね。現状として、三島市の観光客は増えているのでしょうか。

市長： 静岡県観光交流客数調査によると、平成 25 年度には 532 万人、平成 26 年度には 618 万人、そして、最新のデータとして県が集計をしている平成 27 年度は、650 万人を超える予想となっています。

アナ： 観光客の皆さんは何を目的に三島に来るのでしょうか。

市長： 観光に関する問合せで多いものは、うなぎ等のグルメや源兵衛川等のせせらぎ関係、三嶋大社・山中城等の歴史・文化施設に関するものです。その他にも三島スカイウォーク、伊豆フルーツパークなど新しい施設も人気です。外国の方は、富士山や御殿場アウトレットへの玄関口として三島を訪れることが多いようです。

アナ： なるほど。三島市では観光について、どのような事業を実施しているのですか。

市長： 今年度は、観光協会とともに観光戦略アクションプランの見直しを行っています。このプランは来年度から 4 年間実施するための重要な計画となりますので、2020 年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、多くの観光客を誘致できるように、そして役割分担を明確にし、適正なスケジュールで取り組むことができるようにプランづくりを進めています。

また、市内を市街地エリア・箱根西麓エリアという 2 つの観光エリアに分けて、観光 PR やさまざまな整備を行っています。

アナ： 整備といいますと、ハード面ではどのような整備をしていますか。

市長： 観光客の方が気軽にスマートフォンなどで観光案内を検索できるよう、市内 9 か所に屋外型の無料 Wi-Fi (ワイファイ) スポットを整備しました。また、『三島は観光バスの駐車場が少ない』というご指摘がありましたことから、三島駅北口に観光バスが最大 3 台停車可能な専用乗降場を整備しました。そして、箱根西麓地区の観光施設を訪れた方を市街地へと誘導する観光案内看板を、三島スカイウ

オークと伊豆フルーツパークに設置しました。

アナ： では、ソフト面ではいかがでしょうか。

市長： 昨年度は外国人観光客への対応として多くの取り組みを行いました。

7ヶ国語での観光パンフレットの作成をはじめ、既存の観光看板に翻訳用のQRコード（QRトランスレーター）を表示して、スマートフォンで読み取ると外国語で表示されるという仕掛けを設置しました。

また、静岡銀行さんにご協力いただき、日本語の分からない方にも指差しをすることでコミュニケーションが可能となる便利なシート「指すだけ会話ナビ」も作成しました。これは三島市ホームページからダウンロードも可能なので、ぜひご利用いただきたいと思います。その他にも、日本大学の学生さんと協力して、駿豆線沿線の情報を海外に発信しています。

アナ： いろいろなことを行っているのですね。これからの「三島の観光」はどうなっていくのでしょうか。

市長： 全国に約1,700ある市町村の中から『選ばれる街』にならなければいけません。そのためには、網羅的ではない「三島ならではの“とっておき”」を打ち出すことが必要ですので、行政だけでなく、民間企業、各種団体、学校、市民の皆様とで役割分担をしていくことが不可欠になってまいります。

アナ： 市民である私たちにできることは何でしょうか。

市長： これからの「観光」は、多くの人に関わり一緒に作り上げていくものと考えます。一人ひとりのやる気と想いが集まれば、大きな波を起こす力となり、三島の魅力をより高められると信じています。現在、そして未来の三島のことを本気で考えている多くの人が集結することで、『三島のブランド力』を向上させたいと考えています。その取り組みには、皆さんの力が欠かせません。ぜひ、三島の未来を一緒に作りましょう。

アナ： 市民にとって、自分たちで作り上げていく「三島の未来」は楽しみですね。

市長： 新しい道路の開通や観光施設のオープンなど、三島には人を呼び込む風が吹いていると言われます。しかし、自然の風はいつか止んでしまいます。風が吹いている時にその風に乗れ、吹かせ続ける仕掛けを発信し続けなければなりません。

「訪れてよし」「住んでよし」の自慢の三島を作るため、ぜひ、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。